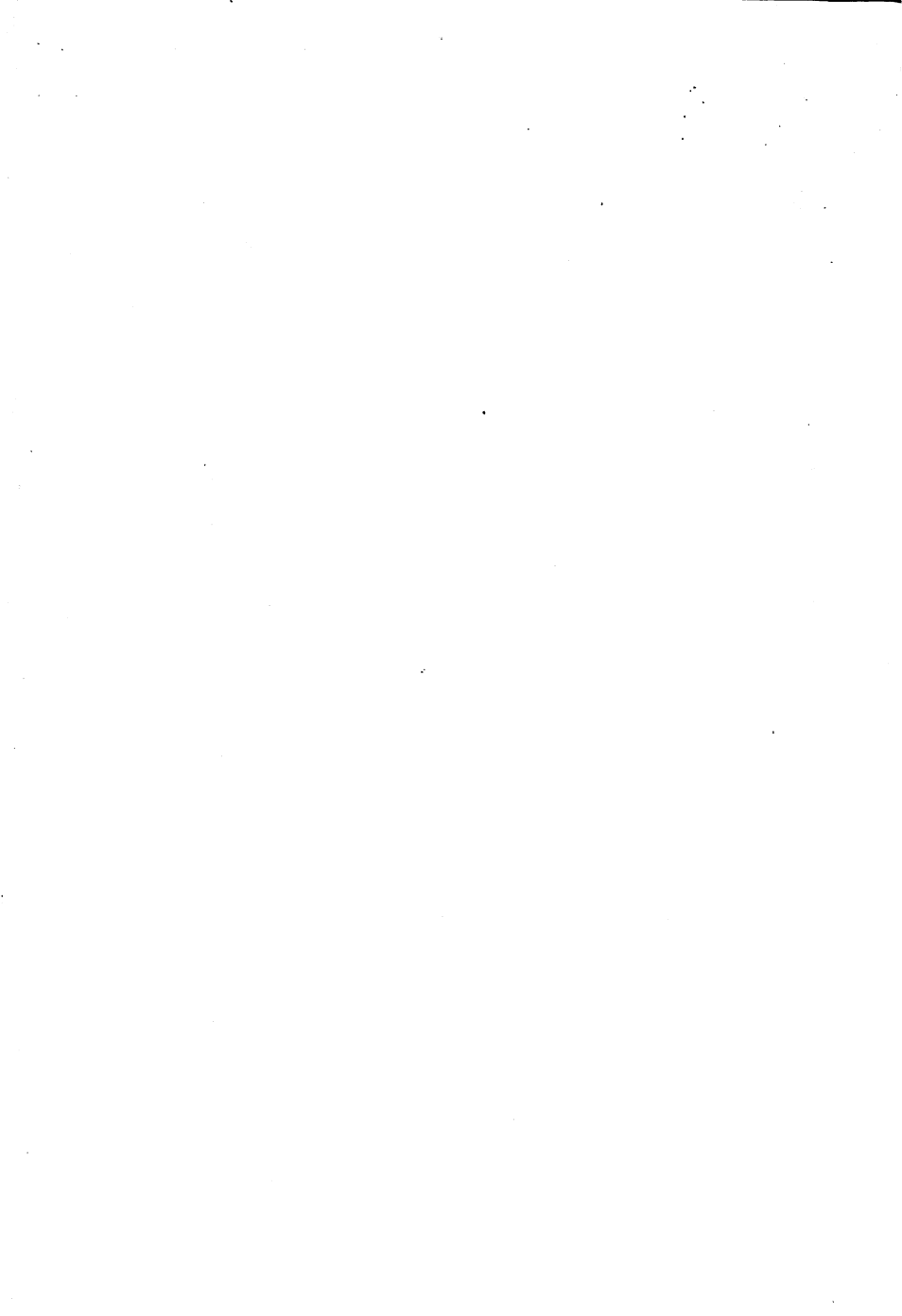


大和田建樹編

日本大辭典

東京 博文館藏版



自序

余が和文學に志し初めたる頃おもひけらく。漢文を學ぶには玉篇の如き文選字引の如きものありて獨習するの便利に乏しからず。然るに和文に至りては斯かるものなければ其書々々に就きて註釋本の助を借らざるべからざるは頗る初學の身には煩はしき心地するなり。いかで玉篇の如き文選字引の如き辭書を得て簡易に學ばるゝ方法は無からずや。是より辭書を望む心いと切なりしが。後また外國語學に入りたる頃おもひけらく。歐文を學ぶに辭書の必

要なるは漢文の比にあらず。而して其辭書の大にもあれ小にもあれ密にもあれ粗にもあれ秩序よく整ひて各その希望に應ずる事玉篇文選字引の類ひならざるは羨むべきにあらずや。此に於て辭書を望む心の切なるは更に熱度を加へて遂に自ら編輯して見ばやこの火燄を發し來れり。然れども企つるは易く成功するは難くして爾來二十餘年間の久しき筆執りつゝも強ひて速成を期せざりしなり。

文運の潮流は日に月に社會を浸して二十餘年前に僅に夢想せし辭書は陸續社會に現じ來れり。物集高

見君の「詞の林」日本大辭林の如き近藤眞琴君の「詞の園」の如き大槻文彦君の「言海」の如き山田美妙君の「日本大辭書」の如き。豈後學を裨補し我文學社會を益する事少々にして止まんや。是れ我輩が深く編者諸君に満足の意を表して感謝するところなり。然れども人おのゝ見るところを異にするこ共に望むところも一樣ならず。曠漠無邊の文學界に二十三十の辭書ありとも多しとすべからざるは言を俟たざるべし。況んや執りつゝありし筆は積りて稿を成すに於てをや。遂に決心して余も亦之を公にせんとするに

至りぬ。かくて清書と印刷とに着手せし以來こゝに
十箇月。助手諸子の勤勉と加ふるに余の壯健とを以
てして全く功を竣るの幸に遇ふ。あはれ天と人との
恩恵に非ずして何ぞや。

此書名づけて日本大辭典といへるは徒らに語數の
多きと紙數の富みたることを意味するに非ず。其用ひ
らるゝ境界の廣からんを期するに出づるのみ。かの
古言に倅して解釋の明瞭を欠き俗語に重きを措き
て雅言を無視する如きは余が辭典の取らざる處な
り。

余が辭典の主とする處は通俗にあり。言語の順序に五十音を用ひずして「いろは」を用ひたるは其一なりとす。何となれば、五十音は或る少數の學者間にこそ便利を與ふれ。社會の大多數に行はるゝものは謂はゆる「いろは順」なりと信ずればなり。言語の分類を假名遣に依らずして發音に任せたるは其二なりとす。何となれば假名遣は或る少數の學者間にこそ行はるれ。社會の大多數に便利を與ふるは發音によるの簡易法にありと信ずればなり。人もし余が辭典の期するところを問はば、余は直に答へんとす。大辭典は

過去の爲めに作りたるに非ず。又未來のために作れるにもあらず。唯いさゝか現在に便ぜしめんが爲めのみ。

明治二十九年八月

編者

志るす

○歷代略表

上										
古										
帝	號	即位	都	年	號					
代一	神武	紀元一	畝傍橿原宮(大和)		二五二六					
	天神日本磐余彦天皇									
代二	綏靖	紀元八〇	葛城高丘宮(大和)		二四四八					
	神神名川耳尊									
代三	安寧	紀元一一三	片鹽浮穴宮(河內)		二四一四					
	磯城津彥玉手看尊									
代四	懿德	紀元一五一	輕曲峽宮(大和)		二三七六					
	尊大日本彥耜友尊									
代五	孝昭	紀元一八六	掖上池心宮(大和)		二三四一					
	尊觀松彥香殖稻尊									
代六	孝安	紀元二六九	室秋津島宮(大和)		二二五八					
	尊日本足彥國押人天皇									
代七	孝靈	紀元三七一	黑田廬戶宮(大和)		二一五六					
	尊大日本根子彥太瓊天皇									
代八	孝元	紀元四四七	輕境原宮(大和)		二〇八〇					
	尊大日本根子彥國牽天皇									
代九	開化	紀元五〇四	春日率川宮(大和)		二〇二三					
	尊雅日本根子彥太日天皇									
代十	崇神	紀元五六四	磯城瑞籬宮(大和)		一九六三					
	尊御間城入彥五十瓊殖天皇									
代十一	垂仁	紀元六三二	纏向珠城宮(大和)		一八九五					
	尊活目入彥五十狹茅天皇									

慶應三年

上

代十二景	行	大足彥忍代別天皇	紀元七三一	繼向日代宮(大和)	一七九六
代十三成	務	稚足彥尊	紀元七九一	志賀高穴穗宮(近江)	一七三六
代十四仲	哀	足仲彥尊	紀元八五二	角鹿筍飯宮(越前)	一六七五
代十五應	神	譽田尊	紀元八六一	豐浦宮(長門)	一六六五
代十六仁	德	大鷦鷯天皇	紀元九七三	豐明宮(大和)	一五五四
代十七履	中	去來穗別天皇	紀元一〇六〇	難波高津宮(攝津)	一四六七
代十八反	正	瑞穗別天皇	紀元一〇六六	磐余稚櫻宮(大和)	一四六一
代十九允	恭	雄朝津間稚子宿禰天皇	紀元一〇七三	丹比柴籬宮(河內)	一四五四
代二十安	康	穴穗天皇	紀元一〇一四	遠明日香宮(大和高)	一四一三
代廿一雄	略	大泊瀨幼武天皇	紀元一〇一七	石上穴穗宮(大和)	一四一〇
代廿二清	寧	白髮廣國推稚日本根子天皇	紀元一一四〇	初瀨朝倉宮(大和)	一三八七
代廿三顯	宗	來目稚子袁祁石集別天皇	紀元一一四五	磐余甕粟宮(大和)	一三八三
代廿四仁	賢	億計天皇	紀元一二四八	飛鳥八鈞宮(大和高)	一三七九
				石上廣高宮(大和)	

古

代廿五 武 代廿六 繼 代廿七 安 代廿八 宣 代廿九 欽 代三十 敏 代卅一 用 代卅二 崇 代卅三 推 代卅四 舒 代卅五 皇 代卅六 孝 代卅七 齊

烈小泊瀨雅鷗 體男大迹天皇 閑勾大兄廣國押武金日天皇 化武小廣國押盾天皇 明天國排開廣庭天皇 達淳中倉太珠敷天皇 明橘豐日天皇 峻長谷部若雀天皇 古豐御食炊屋姫尊 明息長足日廣額天皇 極天豐財重日足姬天皇 德天萬豐日天皇 明皇極重祚

紀元一一五九 紀元一一六七 紀元一一九四 紀元一一九六 紀元一二〇〇 紀元一二三三 紀元一二四六 紀元一二四八 紀元一二五三 紀元一二八九 紀元一二三〇二 紀元一二三〇五 紀元一二三一五

泊瀨列城宮(大和) 筒城宮(山城) 弟國宮(山城) 勾金橋宮(大和) 檜隈廬入野宮(大和) 磯城島金刺宮(大和) 譯語田幸玉宮(大和) 池邊雙槻宮(大和) 金椅柴垣宮(大和) 豐浦宮(大和) 小墾田宮(大和) 飛鳥岡本宮(大和) 飛鳥板蓋宮(大和) 長柄豐崎宮(攝津) 飛鳥板蓋宮(飛鳥川原宮) 飛鳥岡本宮(大和)

大化、白雉

一三六八 一三六〇 一三三三 一三三一 一三二七 一二九五 一二八一 一二七九 一二七四 一二三八 一二二五 一二二二 一二二二 一二一二

上

古

卅八天	智中大兄、天命 開別天皇	紀元一三二二	大津宮 (近江 滋賀)	一二〇五
卅九弘	文大友	紀元一三三一		一一九六
四十天	武天淳中原瀧眞 人天皇	紀元一三三二	飛鳥淨見原宮 (大和)	一一九五
四十持	統高天原廣野姬 天皇	紀元一三四七		一一八〇
四十文	武天眞宗豐祖父 天皇	紀元一三五七	藤原宮 (大和高 市郡)	一一七〇
四十元	明日本根子天津 御代豐國成姬 天皇	紀元一三六八	平城宮 (大和添 上郡)	一一五九
四十元	正日本根子高瑞 淨足姬天皇	紀元一三七五		一一五二
四十聖	武天鸞國押開豐 櫻彥天皇	紀元一三八四	平城宮 (山城)	一一四三
四十孝	謙寶字稱德孝謙 皇帝	紀元一四〇九	平城宮	一一一八
四十淳	仁大炊	紀元一四一九		一一〇八
四十稱	德○孝謙重祚	紀元一四二五		一一〇二
四十光	仁天宗高紹天皇	紀元一四三〇		一〇九七

朝良奈

中

古

五十桓
武
日本根子皇統
彌照天皇

一代平
城
日本根子天排
國高彥天皇

二十嵯
峨
神野日本根子
天皇高讓彌遠天

三十淳
和
西院帝

四十仁
明
日本根子
聰慧天皇

五十文
德
道康

六十清
和
惟仁

七十陽
成
貞明

八十光
孝
時康

九十宇
多
定省

六十醍
醐
敦仁

一代朱
雀
寬明

六十村
上
成明

紀元一四四三

紀元一四六六

紀元一四七〇

紀元一四八四

紀元一四九四

紀元一五一

紀元一五一九

紀元一五三七

紀元一五四五

紀元一五四八

紀元一五五八

紀元一五九一

紀元一六〇七

平
城
宮(山和)
城(京都)

平
安
城

延
曆
一〇八五

大
同
一〇六一

弘
仁
一〇五七

天
長
一〇四三

承和、嘉祥
一〇三三

仁壽、齊衡、天安
一〇一六

貞
觀
一〇〇八

元
慶
九九〇

仁
和
九八二

仁和、寬平
九七九

昌泰、延喜、延長
九六九

承平、天慶
九三六

天曆、應和、天德、
康保
九二〇

古						近					
七代近	七代後	七代後	七代後	七代後	七代後	七代後	七代後	七代後	七代後	七代後	七代後
衛	白河	條	條	條	條	鳥羽	御門	德	恭	堀河	深草
體	雅	守	順	憲	言	尊	爲	守	懷	茂	久
仁	仁	仁	仁	仁	仁	成	仁	成	成	仁	仁
紀元一八〇二	紀元一八一六	紀元一八一九	紀元一八二六	紀元一八二九	紀元一八四一	紀元一八四四	紀元一八五九	紀元一八七一	紀元一八八一	紀元一八八二	紀元一九〇七
平						安					
城						城					
康治、天養、久安、仁平、久壽	保元	平治、永曆、應保、長寬、永萬	仁安	嘉應、承安、安元、治承、壽永	養和	元曆、文治、建久	正治、建仁、元久、建永、承元	建曆、建保、承久	貞應、元仁、嘉祿、安貞、寬喜、貞永	天福、文曆、嘉禎、曆仁、延應、仁治	寬治、建長、康元、正嘉、正元
七二五	七一	七〇八	七〇一	六九八	六八六	六八三	六六八	六五六	六四六	六四四	六二四
倉						鏤					

近

九十龜山	九十後宇多	九十伏見	九十後伏見	九十後二條	九十花園	九十後醍醐	北光嚴	北光明	北後村上	北崇光	北後光嚴	八十長慶
恒仁	世仁	熙仁	胤仁	邦治	寬仁	尊治	量仁	豐仁	義良	興仁	彌仁	寬成
紀元一九二〇	紀元一九三五	紀元一九四八	紀元一九五九	紀元一九六二	紀元一九六八	紀元一九七九	紀元一九九二	紀元一九九七	紀元一九九九	紀元二〇〇九	紀元二〇一二	紀元二〇二九
平安城						平安行宮(大和)	平安城		吉野行宮	平安城		吉野行宮
文應、弘長、文永	建治、弘安	正應、永仁	正安	乾元、嘉元、德治	延慶、應長、正和、文保	元應、元亨、正中、嘉曆、元德、元弘、建武、延元	正慶	曆應、康永、貞和	興國、正平	貞和、觀應	文和、延文、康安、貞治、應安	正平
六〇七	五九二	五七九	五六八	五六五	五五九	五四八	五三五	五三〇	五二八	五一八	五一五	四九八
時	代	時	朝	北	南	時	朝	北	南	時	朝	北

近世				古										
百七 後陽成	百八 後水尾	百九 明正	百十 後光明	百六 正親町	百五 後奈良	百四 後柏原	百三 後土御門	百二 後花園	百一 稱光	百 後小松	北朝 後圓融		九代 後龜山	
和	政	興	紹	方	知	勝	成	彦	實	幹	緒	仁	淵	
仁	仁	子	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	成	
紀元二二四七	紀元二二七二	紀元二二九〇	紀元二三〇四	紀元二二一八	紀元二一八七	紀元二一六一	紀元二一二五	紀元二〇八九	紀元二〇七三	紀元二〇四三	紀元二〇三二	紀元二〇三〇	紀元二〇三〇	
平安城				平安城										
天正、文祿、慶長	慶長、元和、寬永	寬永	正保、慶安、承應	永祿、元龜、天正	享祿、天文、弘治	文龜、永正、大永	文明、長享、應仁、明應	寬正、文正、應仁、長祿、寬正	寶德、享德、康正	永享、嘉吉、文安	應永、正長	康應、明德、應永	永德、至德、嘉慶、應安、永和、康曆、弘和、文中、天授	
二八〇	二五五	二三七	二二三	三〇九	三四〇	三六六	四〇二	四三八	四五四	四八四	四九五	四九七	四九七	
				—代時利足—										—代

[illegible]

○年號索引 (二重欄は北朝の年號なり)

は

白雉 孝德

に

仁壽 文德

仁和 孝德

仁平 近衛光仁

仁安 六條

仁治 四條

ほ

保安 鳥羽

保延 崇德

保元 後白河

寶龜 光仁

寶治 後深草

寶德 後花園

寶永 東山

寶曆 桃園

へ

平治 二條

こ

徳治 後二條

ち

長徳 一條

長保 一條

長和 三條

長元 後一條

長曆 後朱雀

長久 後朱雀

長治 堀河

長承 崇徳

長寛 二條

長祿 後花園

長享 後土御門

貞観 清和

治安 後一條

治暦 後冷泉

治承 高倉

を

應和 上村

應徳 後白河

應保 二條

應長 花園

應安 後光厳

永永 後小松

應仁 後土御門

わ

和銅 元明

か

嘉祥 仁明

嘉保 堀河

嘉承 堀河

嘉應 高倉

嘉祿 後堀河

嘉禎 四條

嘉元 後二條

嘉暦 後醍醐

嘉慶 後小松

嘉吉 後花園

嘉永 孝明

よ

養老 元正

養和 安徳

た

大化 孝德

大寶 文武

大同 平城

大治 崇徳

大永 後原

れ

靈龜 元正

弘 長 山龜	文 龜 原柏後	文 永 山龜	元 文 町櫻	元 享 醍醐後	慶 應 明孝	建 長 草深後	萬 延 明孝	寬 保 町櫻	寬 德 雀朱後	曆 仁 條四
弘 安 多字後	文 祿 成陽後	文 保 園花	元 治 明孝	元 德 醍醐後	元 慶 成陽	建 治 多字後	け	寬 延 園桃	寬 治 河堀	曆 應 明光
弘 和 山龜後	文 化 格光	文 中 山龜後	乾 元 條二後	元 弘 醍醐後	元 永 羽鳥	建 武 醍醐後	建 久 羽鳥後	寬 政 格光	寬 喜 河堀後	く
弘 治 良奈後	文 政 孝仁	文 和 嚴後光	ふ	元 中 山龜後	元 曆 羽鳥後	建 德 山龜後	建 仁 門御土	觀 應 光崇	寬 正 園花後	寬 平 多字
弘 化 孝仁	文 久 明孝	文 安 園花後	文 治 羽鳥後	元 龜 町親正	元 久 門御土	慶 雲 武文	建 永 門御土	ま	寬 元 峨嵯後	寬 和 山花
康 保 上村	こ	文 正 御門後土	文 曆 條四	元 和 尾水後	元 仁 河堀後	慶 長 成陽後	建 曆 德順	萬 壽 條一後	寬 永 尾水後	寬 弘 條一
康 平 泉冷後	弘 仁 峨嵯	文 明 御門後土	文 應 山龜	元 祿 山東	元 應 醍醐後	慶 安 明光後	建 保 德順	萬 治 院西後	寬 文 院西後	寬 仁 條一後

貞 享 元 靈	天 明 格 光	天 承 德 崇	天 祿 融 圓	神天 護平 德 稱	永 正 原 柏後	永 治 德 崇	永 觀 融 圓	延 應 條 四	康 正 園 花後	康 和 河 堀
あ	天 保 孝 仁	天 養 衛 近	天 延 融 圓	天 應 仁 光	永 祿 町 親正	永 曆 條 二	永 延 條 一	延 慶 條 二後	興 國 上 村後	康 治 衛 近
安 和 泉 冷	貞 元 融 圓	天 福 條 四	天 元 融 圓	天 長 和 淳	て	永 萬 條 二	永 祚 條 一	延 元 融 圓後	え	康 元 草 深後
安 元 倉 高	貞 應 河 堀後	天 授 山 龜後	天 喜 泉 冷後	天 安 德 文	天 平 武 聖	永 仁 見 伏	永 承 泉 冷後	延 文 巖 後光	延 曆 武 桓	康 永 明 光
安 貞 河 堀後	貞 永 河 堀後	天 文 長 奈後	天 仁 羽 鳥	天 慶 雀 朱	天 感 實 謙	永 和 融 後園	永 保 河 白	延 德 御 後土	延 喜 融 圓	康 安 巖 後光
安 永 園 桃後	貞 和 光 崇	天 正 町 親正	天 永 羽 鳥	天 曆 上 村	天 勝 實 謙	永 德 融 後園	永 長 河 堀	延 寶 元 靈	延 長 融 圓	康 曆 融 後園
安 政 明 孝	貞 治 巖 後光	天 和 元 靈	天 治 德 崇	天 德 上 村	天 實 字 謙	永 享 園 花後	永 久 羽 鳥	延 亨 町 櫻	延 久 條 三後	康 應 松 後小

壽	承	正	正	明	久	
永	元	慶	安	治	安	さ
德 安	門 御 土	巖 光	見 伏 後 上	今 衛 近		
	承	承	正		久	齋
	久	和	和	し	壽	衡
	德 順	明 仁	園 花		衛 近	德 文
	承	承	正	正		
	應	平	中	曆	め	き
	明 光 後	雀 朱	酬 醒 後	條 一		
	昌	承	正	正	明	享
	泰	保	平	治	德	德
	酬 醒	河 白	土 村 後	門 御 土	松 小 後	園 花 後
	神	承	正	正	明	享
	龜	曆	長	嘉	應	祿
	武 聖	河 白	光 稱	草 深 後	御 後 門 土	良 奈 後
	景 神	承	正	正	明	享
	雲 護	德	保	元	曆	保
	謙 孝	河 堀	明 光 後	草 深 後	院 西 後	門 御 中
	朱	承	正	正	明	享
	鳥	安	德	應	和	和
	武 聖	倉 高	門 御 中	見 伏	町 櫻 後	格 光